

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	岡田大輝
所属機関名	獣医学部獣医学科
職位	助教
在籍年	6 ヶ月

教育の責任

小動物臨床のうち獣医眼科学を専門とし、本学では「獣医眼科学」、「小動物内科学実習」、「小動物外科学実習」、「総合参加型臨床実習」を担当しています。小動物外科学講座の一員として小動物臨床に必要な外科教育を担い、眼科学担当として相対的に教育機会が限られる眼科分野を正確かつ体系的に教授して将来眼科症例に適切に対応できる獣医師を育成し、大学教員として学生が自ら論理的に判断できる力を育てることが、私の考える教育の責任です。

教育の理念

私の教育の理念は、物事を原理から捉え、その原理が症状・所見・データ・対策としてどう現れるかを因果で説明できる力を育てることです。眼科学を入口に、基本に忠実な評価と判断の筋道を丁寧に示し、この考え方を臨床だけでなく、公衆衛生・行政・研究など多様な場の課題解決に応用できる力へとつなげます。知識の暗記にとどめず、状況を整理し、妥当な初期対応と必要な連携を選べる判断力の形成を目標とします。

教育の方法・方針

教材は自作スライドと配布資料を用います。「物事を原理から捉え、因果で説明できる力」を講義で具体化するために、授業は一連の流れで構成します。まず、冒頭で本日の学習目標と疾患の位置づけを示し、短い症例要約で前提をそろえます。続いて、基本検査の順番に沿って各検査の目的と期待所見を説明し、得られた所見を病態の機序に結び付けて「なぜそう考えるのか」を言語化します。そこから鑑別を整理し、状況に応じて妥当な初期対応を選ぶところまでを、同じ枠組みで一貫してたどります。毎回同じ流れにすることで、考える順番が定まり、どの段階で何を確認し何を判断するかが見通せるようになり、復習もしやすく、症例が変わっても自分で同じ筋道を再現できる力が育つことを目指しています。スライドは図や写真を中心に構成し、視覚的に理解しやすくします。動物種間の比較解剖は毎回一枚にまとめ、所見の意味づけと国家試験で問われやすい論点を結び付けて示します。講義の終わりに、短い確認問題と質疑で理解を点検したいと考えています。

教育の成果

本年度前期では主担当ではなく補助として、医療面接実習や参加型臨床実習に関わりました。関与した場面では、原理から一緒に考え、理由を自分の言葉で説明することを促しました。その結果、学生からは「理解しやすかった」「次に何を確かめればよいかが見えた」「稟告とその後の判断のつながりが分かった」「所見から考えられることが整理できた」といった口頭の反応が得られました。まだ数値化されたアンケート結果はありませんが、「理解しやすかった」「次に何をすることが分かった」という手応えは、今後の授業設計を進める上での土台になりました。

今後の目標

今後は、私の講義において「原理から因果で説明する」思考法を学びの中心に据えていきます。学生が状況に応じて妥当な初期対応を選び、その理由を自分の言葉で明確に述べられる力へと導いていきます。授業はこの方向性に合わせて整えていき、学生からの反応を手がかりに表現を磨き、より理解しやすい授業へ継続的に高めていきたいと考えています。

根拠資料